

文化的施設整備事業

町議会だより

④ 広報関係 【注】映像関係（CATV 文字放送・行政放送等）、町公式 HP・SNS による発信を除く

⑤ 議会だより … 平成 28 年 5 月(第 39 号) ～ 令和 6 年 2 月(第 70 号)発行

[発刊年月] / [主な内容]

| | |
|---|----|
| ▶H28 年 05 月 / 一般質問・キャッチボール | 1 |
| ▶H28 年 10 月 / 自由討議・キャッチボール | 3 |
| ▶H29 年 02 月 / 一般質問 | 4 |
| ▶H29 年 11 月 / 一般質問 | 5 |
| ▶H30 年 08 月 / 一般質問 | 6 |
| ▶H30 年 10 月 / H29 年度決算認定、一般質問 | 7 |
| ▶H31 年 03 月 / 一般質問 | 9 |
| ▶R01 年 05 月 / R01 当初予算審議、常任委員会報告 | 10 |
| ▶R01 年 08 月 / 陳情 | 12 |
| ▶R01 年 11 月 / 常任委員会報告 | 13 |
| ▶R02 年 02 月 / 一般質問、表紙紹介（子ども議会） | 14 |
| ▶R02 年 08 月 / 一般質問 | 16 |
| ▶R02 年 11 月 / 一般質問、過疎計画の一部変更議案 | 19 |
| ▶R03 年 02 月 / 一般質問、常任委員会報告 | 23 |
| ▶R03 年 05 月 / R03 当初予算審議 | 25 |
| ▶R03 年 08 月 / 一般質問、陳情、常任委員会報告 | 27 |
| ▶R03 年 11 月 / R03 補正予算審議（修正動議）、一般質問、過疎計画策定議案 | 34 |
| ▶R04 年 02 月 / 一般質問、常任委員会報告、キャッチボール | 40 |
| ▶R04 年 05 月 / R04 年度当初予算（修正動議）、一般質問、総合振興計画議案、常任委員会報告 | 43 |
| ▶R04 年 08 月 / こども議会、一般質問、常任委員会報告 | 47 |
| ▶R04 年 11 月 / 窪川中学校こども議会（特集）、一般質問、陳情、常任委員会報告 | 52 |
| ▶R05 年 03 月 / R04 補正予算（修正動議）、一般質問、常任委員会報告、過疎計画の一部変更議案、請願 | 60 |
| ▶R05 年 05 月 / 一般質問、ありやどうなっちゅうぜよ | 72 |
| ▶R05 年 08 月 / 一般質問、常任委員会報告 | 78 |
| ▶R05 年 11 月 / 住民投票条例案審議（再議）、自由討議、請負契約議案、町長問責決議、 一般質問、常任委員会報告、住民投票条例案の廃案までの動き | 80 |
| ▶R06 年 02 月 / 一般質問、議会報告会 | 89 |

R06.02.15

企画課文化的施設整備推進室

商店街整備

窪川街分の整備計画を明確にせよ
今年策定の第二次総合振興計画に
明記／副町長



下元 昇 議員

能が失われつつある状況で、時代に合わせた店舗に移行する必要がある課題と考えている。空き店舗の活用は所有者との交渉など調整事項が多くあり問題点と捉えている。

ーニングを心掛ける。窪川地域審議会からは宿泊施設の脆弱性の指摘を受けているので、宿泊施設の整備は公益性を担保し、支援と対策を次期振興計画にしっかりと位置付ける必要がある。

下元 街分を調査すると54%、177店舗が減少している状況だ。ゾーニングし整備計画など今後の役割を明確にし、第二次四万十町総合振興計画に明記する必要がある。街分の課題と問題点を示せ。

森副町長 駅前周辺は買い物、飲食、宿泊や公共機能・住民サービスの生活拠点ゾーン。旧役場周辺は岩本寺、半平旅館があり交流ゾーン。東町には身体障害者施設の建設計画もあり福祉ゾーン。本町筋や吉見町筋は新たな起業もあり、街分の特性を生かしたゾ



窪川本町筋

ふるさと納税返礼品

四万十町に来てもらう旅行パックを商品化せよ
観光協会が返礼品として企画する
／企画課長

下元 町外からの流入や宿泊人口を増やすため、4万人いるふるさと納税者に、飛行機代、JR運賃、ガソリン代、高速料金、宿泊代金や体験プランも含めた旅行パックなどを、金額に応じた企画を返礼品として商品化し、実際に四万十町に来てもらい宿泊、飲食などお金を落としてもらおうことを企画できないか。

敷地企画課長 納税者からは本町に興味を持ち、一度は訪れてみたい、四万十町の自然に感動したなどのメッセージをいただいている。情報発信の仕方によっては多くの方に訪れてもらえる可能性はあると考えている。現

状は松葉川温泉の宿泊券や短期の農業体験の返礼品はあるが利用が少ない。今後は旅行業法の資格を持つ旅行協会の企画商品として返礼品として活用することが一番効果があると考えている。この返礼品でしかない体験や飲食の特別メニューの企画商品を返礼品として企画し商品化していく。



松葉川温泉



公民館

閉館後の活動は
代替施設で確保
／生涯学習課長



中屋 康 議員

林十和町民生活課長 現在は基幹集落センターとして代替利用しているが、公民館事業は少ない。カラオケや舞踊、各種会合は十和地域振興局2階コミュニティセンターで多

中屋 十和、大正の公民館が相次ぎ閉館したが、今後の活動の場は担保されているか。

辻本生涯学習課長 2館とも老朽化に伴い閉館した。運営協議会等の答申を受け地域コミュニティセンターの場で活動していく。

山脇大正地域振興局長 きらら大正、健康管理センター等を代替施設として利用している。新施設も完成後利用者との協議する。



大正中央公民館跡地

く利用されている。

中屋 社会教育主事が介在し社会教育を展開していく公民館活動を町長はどう考えているのか。

中尾町長 代替施設で事足りるとは考えてない。社会教育主事のもと、住民の活動拠点ならびに、生涯学習の場として公民館活動を今後も考えていく。

学校と地域

学校運営協議会制度の導入は
多くの成果を上げている
／学校教育課長

中屋 地域と学校の関わりに、住民やPTAでつくる学校運営協議会「コミュニティ・スクール」があるが、本町での実施状況と成果について聞く。

杉野学校教育課長 本町では米奥小学校で導入実施している。児童の健全育成に地域ぐるみで取り組むなど、学校運営協議会が果たす役割は大きく、多くの成果が上がっている。

中屋 コミュニティ・スクール制度とは別に、学

校支援地域本部を設置するとされるがその内容と二つの取り組みの考えは。

杉野学校教育課長 地域と学校の間を受け持つ橋渡し役となるコーディネーターを設け、行事等の連絡・調整を行う制度で、窪川小、東又小、仁井田小に開設する。

川上教育長 地域の実情、学校の特色やニーズに沿って今後それぞれの制度の活用と充実を図っていく。



コミュニティスクール風景



四十町議会では各委員会単位で、各地域に足を運び住民の皆様の声を聞き、改善すべき点を執行部に提言してきました。

今回は、平成27年9月18日に十和地区での聞き取り・提言に対し執行部から回答がありましたので、お知らせいたします。(抜粋・要約)

総務常任委員会の提言に対する回答

里川地区

要望 地区への進入路が単線であるため、災害時の孤立集落になる恐れがあるので対応を願う。

回答 平成19年へりポルト調査を行ったが離着陸に適さない。当地は山間地が多く災害時には「土

砂災害」で長期間の孤立も予想されることから二次避難所などのマニユアルづくりを含め、離着陸の可能な場所を地域と一緒に模索する。

浦越地区

要望 屋外放送の内容が聞き取れない。

回答 屋外放送が風雨時聞き取れない等の苦情が各地から届いている。対策として12チャンネル(監視カメラ)にて音声がかえりシステム導入を実施しており、各世帯へ再度周知も必要と考えている。

要望

コミュニティバスの地域周回の回数、及び乗り場を増やしてほしい。

回答 運行曜日を限定する代わりに住民のニーズの高い現行で開始し、利用者座談会でも確認。当

面、運行内の変更は予定していない。十和地区で買物の雨風をしのげる場所の簡易な施設を検討したい。

産業建設常任委員会の提言に対する回答

十和地区全般

要望 平成26年度道路維持管理費で見ると十和地区は、1キロメートルあ

たり約12万円しか維持管理費がなく到底1.98キロメートルある町道の維持管理は無理と思われる。維持管理予算についても検討すること。

回答

各路線は、町道維持管理委託(草刈作業、簡易な落石等除去として、年2回各集落にお願いしている。その他、日々の維持管理として簡易な修

繕等については町道維持管理の臨時職員で対応しているが、大規模で不測の事態では地元建設業者との連携により対応している。

危険箇所

の対応としてガードレール増設等々安全確保に努めているが、路線延長があり幹線道を中心として対策が急がれ急峻な山間地の道路であり要望箇所が多いのが現状である。今後において計画的に予算措置を行いながら対応していく。

教育民生常任委員会の提言に対する回答

十和地域全般

要望 診療所の医師には長期的にいていただける対応を願う。

回答 医師確保は町政の最優先課題だが、県内の現状は若手医師の減少や



キ ャ ッ チ ボ ー ル



このコーナーは町民の皆様が議会に対する思いや、行政に提言をしてもらいたいことなどを取り上げて、議会と町民とのキャッチボールを行います。多数の意見・提言を掲載下さい。

合併して1年目を迎えていますが、以前から窪川・大正・十和それぞれの地域で保管されている、住民から寄贈された民具や農具などの保管状況と活用が十分されていないのでは、という指摘が議会や住民からもありました。

Q

以前、十和地区の住民から民具を展示・保管していた旧昭和の役場が相当痛んできたが改修してきちんと保管してほしいという陳情があったと思うが、その後どうなつちゅうぜよ。さっぱり情報もはいらんが。

この陳情は平成23年9月議会の教育民生常任委員会で継続審議になり、12月議会で趣旨採択されていたね。旧役場の改修はさて置き、民具は先人の知恵が作り出した生産道具などで後世に伝える唯一の手段で大事に保管すべきと決めたがです。

ほんでどう保管していくがぜよ。ただ保管するだけじゃないう。学校での教育に生かしてはという意見もある。



また、閉校した学校に保管しても掃除など管理をきちんとせよ、という意見も住民にある。それを受けて教育長は保管や展示だけでなく地域学習など通じて故郷の歴史と文化を感じ取って心の醸成につながる活用を考えていく。

Q

テレビのニュースなどで聞くと全国にはたくさん民俗館などができたが、うまく運営ができゅうのは、ほんの一握りやないかよ。餅になりやせんかよ。

審議会で民具等の保存・管理について協議する予定ながです。

Q

素人が考えるに、役場の中に文化財や民具などの専門職員(学芸員)がいりやせんかよ。

A

ええこというね。今、町長は人材育成にこじやんと力を入れてちゅうぎ、いうてみたらええかもしれんね。



合併浄化槽設置整備事業

Q 下元真之議員 この説明では、1基

当たりの補助金額が新規で設置する場合と比べ少ないが、単独の浄化槽から切り替えても工事費用が少ないためか。

A 植村町民環境課長 単独浄化槽から合併浄化槽への切り替えは、5人槽33万2千円、7人槽41万4千円にそれぞれ9万円を上乗せ補助する内容である。

地域支えあいネットワーク事業

Q 酒井祥成議員 この事業は、地域包括支援センターの職員と

地域の区長、民生委員、社協、警察、消防が見守り台帳として情報共有し、地域の見守りをする事業

だが、宅老所であったかふれあいセンターも共有することはできないか。

A 山本健康福祉課長 個人情報も載せても構わないとの了解を得ているので、今は宅老所等へ回っていないが、検討していく。

ホビー館推進事業

Q 堀本伸一議員 数字だけを見ると、入館者が減っている。成果を費用対効果という視

点が捉えると非常に厳しいが、どういうメリット



ホビー館

が生まれて予算化しているのか。

A 下藤商工観光課長 ピーク時が年間7万6千人。今は4万8千人となっているが、26年度と比べると4千人増加しており平均で5万人トータルで見ると34万人で設定目標はクリアしている。メリットとしては

交通基盤がよくなり、地元住民に寄与したと考えている。また、今年から打井川地区会でホビー館を活かそうと組織の再編を行っており、期待をしている。

自由討議

今回は決算質疑終了後に議員間で、執行部が27年度に行った予算措置や施策効果について、それぞれの議員の考えを執行部に提案し、次年度への取り組みに対し意見発表を行う議員間の討論。

●岩井優之介議員 図書館の運営体制が弱い。場所の変更も考える時期にあるのではないかと

観光政策に力を入れるべきで、今以上に観光協会と行政の連携を深めるべきではないか。

●下元真之議員 図書館をまちづくりの中心にすべきと考える。充実問題は町民の中にもある。歴史も大事にした取り組みが必要ではないか。

●西原真衣議員 図書館の充実がなければ人材育成はできない。また、町民の多くから銭湯の復活を望む声がある。町民が気楽に集える場所が必要と考える。



半平の馬屋

●武田秀義議員 旧商工会館跡地にお遍路さんや観光客へ足湯の提供を考えてみてはどうか。また、半平の馬屋の活用など周辺整備も必要ではないか。

●古谷幹夫議員 奥四万十博後は、1次産業とリンクしたメジャーでないところでの体験を通じた観光振興を図るべきではないか。

ないか。また、図書館の果たすべき役割として、空間を出会いの場として考えてみてはどうか。

●橋本章央議員 3地域で中心地の空洞化が進んでいる。再開発も視野に入れた政策が必要と思う。

●酒井祥成議員 職員の削減はサービスの低下になるのでは。有利な補助金等は情報を知った人だけが使うことがあってはならない。

●堀本伸一議員 図書館を一つの拠点にしたいという意見は素晴らしい。観光に関しては、四万十川に來られた方や、ふるさと納税で寄附をしていただいた人に感謝する意味でも、我々の財産である四万十川を保全するためにも、毎年ある一定の予算化が必要と思う。



キャッチボール



このコーナーは町民の皆様からの議会に対する思いや、行政に提言していただきたいこと、また旬の話題を取り上げて、議会と町民のキャッチボールを行なうものです。多数の意見・提言を議会まで投稿くださいますと幸いです。

旧庁舎跡地活用

新庁舎に移って2年余り経過しました。新庁舎も県内外から取材に訪れたり、ぶらりと立ち寄る姿がテレビなどで放映されたり、すっかり四万十町の観光スポットの一つになっている感じがいたします。

町民の間では旧庁舎跡地は何に使ってあげよ。以前は民間のホテル建設地という意見もあったが、町長はどう考えようがやるうね。そこで、今回は旧庁舎跡地の利用をこのコーナーで取り上げました。

Q 最近、隣の旧都築邸にある古民家カフェに訪れる町内外の方が徐々に増えていると聞

くが本当かよ。



旧庁舎跡地

A そうな感じです。全国的な古民家ブームと奥四万十博の立ち寄り所になっっていることもあるしね。

Q 跡地利用と関係があるが。

A そうです。旧庁舎跡地は四国霊場岩本寺と旧都築邸に挟まれ

ている場所でもあるし、これらを活かした跡地活用が望まれます。

Q 跡地利用は町長にも考えがあると思

うが町民の賛同が欠かせんきね。地域座談会でも図書館の充実を求める声が



四万十町立図書館

A 9月議会でも何人かの議員からも「図書館の充実や場所の変更や人が来る工夫も必要」との発言があったが、それもひとつの案かな。

Q 大豊に郷土資料館ができちゅうね。

そこに行ってきた人がぜひ跡地に郷土資料館を造ってほしいといっている。

A 7月に図書館・美術館・郷土資料館等に関するあり方懇談会がもたれている。町長も出席していたので構想を練っていると思います。高速道路が幡多へ延伸される時期が近いし、四万十町に降りてもう仕掛けとなるような活用が必要ですね。

環境型まちづくり

条例化が必要ではないか 条例制定に向けての 努力はしていきたい／町長



下元 真之 議員

事実はあった。公共施設の管理計画の中で費用対効果を勘案し、再生可能エネルギーへの転換を誘導するよう位置づけをしていきたい。

中尾町長 条例は町民にその情報を伝え、町の方性を町民と共に目指していく大きな役割がある。条例化についてはしっかりと検討し、制定に向けての努力はしていきたい。

下元 総合振興計画でも循環型のまちづくりをうたっておりながら、各課では町内資源を活用し循環できるエネルギー（木質系の冷暖房施設やボイラー、ストーブ等）の新設や更新について具体的な調査や検討が全く行われていない。条例化が必要ではないか。

森副町長 指摘のように各課で共有できていない

下元 50年後、100年後の自分たちの後の世代の未来に向けて循環「をキーワード」にした条例化を図り、持続可能なまちづくりの方性を示すべきだ。



12時間燃焼する薪ボイラー

全国の事例を参考に検討を 正面から捉え推進していきたい／町長

図書館改革

下元 本町図書館の現状や将来に対する課題があるため先進自治体の視察を進めているのだと思うが、今ある図書館で充実させていくことができるのか、新しい建物に造り替えていく必要があるのか、どのような視点の視察か。

川上教育長 今の図書館の充実ということも当然考えての視察だ。また、今から先の図書館は交流の場や文化活動の場など、その機能を果たす役割はますます多様化しており、町民のニーズに添えていく図書館とはどのような施設かといった視点だ。

下元 民間に図書館の指定管理を委託して利用者の満足度を高めたり、補助金に頼らず民間が資金調達をして建物全体を建て図書館部分だけ町に売

中尾町長 人材育成を公約に掲げた私としては、図書館の整備・拡充は必須の課題だ。旧役場庁舎の跡地活用や町内への交流人口の拡大も含め、訪れる人も町内の人も集え、教育環境整備の観点からも図書館改革はベタな事業施策だと考えている。正面から捉えて推進していきたい。



佐賀県武雄市の図書館



水間 淳一 議員

町有財産

四万十町旧庁舎の跡地利用は町活性化の重要な土地

町長

水間 四万十町旧庁舎の跡地利用は現在のどのような状況か聞く。

清藤総務課長

現在は、誰でも使用が可能な駐車場として、一般開放しているが、休日にはイベント関連の駐車場として利用することもある。



旧本庁舎跡地

水間 町民誰でもが、使用可能な駐車場とイベント関連の駐車場ではなく、広い土地であり町民のために町浮揚の核となる利活用を検討すべきと思うが町長の所見を聞く。

中尾町長 四国霊場三十

七番礼所や半平など地の利を活かした活性化策の候補地の一つである。文化複合施設の検討もなされることになっており、町の浮揚策の重要な土地として様々な検討をしたい。

地元公立高校

窪川高校、四万十高校の現状と課題は

一定規模の生徒を確保

町長

水間 窪川高校と四万十高校の現状と課題を聞く。

山脇政策監 29年度は窪川高校への入学者は地元から22人、四万十高校は地元から11人となっております。

両高校の規模と存続そして地域の活性化を目指すには一定の生徒数の確保が急務となっている。

水間 町は高校応援大作戦を展開しているが、この柱となるのは学力向上と部活動の活性化であると思われる。また四万十高校の寮費は県内で最も高額であり、これを軽減する必要があると思うが

町長の所見を聞く。

中尾町長 窪川高校、四万十高校においては、この町で育った子供達が地元歴史、文化そして教養、体力などを兼ね備えた人材をつくるための最終学校であるとして位置付けている。一定規模の生徒を確保しながら教育環境を含めて支援していきたい。

山脇政策監 四万十高校の



窪川高校

所有者不明の土地問題

増やさない対策は
相続登記のチラシなどを配布

税務課長



下元 真之 議員

下元 所有者不明土地の今後を考えられる問題点を問う。

松田税務課長 相続登記が行われずに放置されたままの状態が続くと、子や孫の代になって売買などができなくなる場合がある。また、再開発が進まない、空き家の管理や活用ができない、防災・減災の取り組みや災害

復旧への影響、農地山林の集約化が進まないことや放置など、様々な問題発生する可能性が考えられる。

下元 問題を増やさないための対策を問う。

松田税務課長 土地家屋の所有者を含む納税義務者が死亡された際、相続人及び代表納税義務者指定・変更

届を提出してもらおうよう通知している。また被相続人

名義の土地家屋名寄帳と説明文書を添付したり、

相続登記を促すチラシを配布しており、町民課でも同様のリーフレットを配布している。

中尾町長 相続の大切さや放置した場合に発生するデメリット等を啓発し、所有者不明土地が出ない環境をつくっていききたい。



相続登記を促すパンフレット

図書館整備

過大華美になりはしないか

危機感を持って対応している／町長

下元 検討委員会（16人）に様々な課がかかわって進められているようだが、**過大華美なものになっていくのではないか。**

中尾町長 特ランニングコストの問題には危機感を持って対応しているが、**最終的な判断まで細かい指示はせずに図書館等文化的施設のあるべき姿を検討してほしい**という状況だ。

下元 非採算で維持費の高い公共事業は財政が厳しくなると真っ先に削られるし、**財政負担をすればならば町民に負担感が出**



瀬戸内市民図書館／四万十町の目指す方向は…

る。今までと同じ考え方の建設では、**維持管理も含めて要注意ではないか。**

中尾町長 町民の足を引っ張る施設にはいたくないの思いは同感であり、**危機感を持って進める。**



平成29年度一般会計 歳入・歳出決算認定

平成29年度一般会計及び国民健康保険特別会計など10特別会計と水道事業会計の歳入歳出決算書の主な質疑内容は次の通りで、審議後全ての会計決算を認定した。

汚泥リサイクルセンターで処分している。

緊急用ヘリポート整備事業に1391万400円

質問 大道地区、野々川地区に整備するヘリポートだが、災害時用として今後、各地域から要望があれば新たに对应している考えはないか。

質問 大道地区、野々川地区に整備するヘリポートだが、災害時用として今後、各地域から要望があれば新たに对应している考えはないか。

質問 搬出した汚泥処理は、産業廃棄物あるいは一般廃棄物のいずれか。また、排出量と運搬先はどこか。

回答 産業廃棄物として汚泥処分している。

平成29年度の排出量は57m³、処分場は愛媛県の

合併処理浄化槽設置整備事業に2516万円

質問 単年で100%と

なっているが何基整備したか。平成32年度に目標値50%とあるが、最終目標は100%か。対象世帯の根拠はどこに求めているか。

回答 29年度の募集60基に対して60基の応募があり全て補助対象となった。最終100%は合併浄化槽、下水道、農業集落排水を含めた目標を指している。基本となる目標数値は住民基本台帳の全員だ。

図書館管理運営費の読書活動推進事業に74万2146円

質問 入館者が減少しているが現状をどのように

捉え、改善を図るのか。

回答 28年度に比べ若干減少しているが貸し出し冊数については上向きである。図書館の魅力度アップに向けてホームページやケーブルテレビで認知度を上げる努力をしている。

質問 四万十町産シヨウガの味分析結果や特徴を科学的に評価し、視覚化したとあるが、どのような支援内容か。

回答 日本一の生産量で町のネームバリューを高めていくためにも、シヨウガの成分分析、成分表示をして、JA四万十が運営しているネットショ

質問 平成29年度の入館者数が目標値の約57%に留まった。指定管理料830万円や、その他諸々の町負担も発生しているが、今後、入場者数をどのように目標達成をしていくのか。

回答 入館者数は平成28年度4万3000人、29年度2万8732人と著しく落ち込んでいる。ホビー館、関係する県の支援企画員、観光協会、関係する団体で協議を進めている。これから、企画展の取り組みや、31年2月からのポスト維新博との連携、ウェブを利用し

質問 四万十町産シヨウガの味分析結果や特徴を科学的に評価し、視覚化したとあるが、どのような支援内容か。

回答 日本一の生産量で町のネームバリューを高めていくためにも、シヨウガの成分分析、成分表示をして、JA四万十が運営しているネットショ

質問 入館者が減少しているが現状をどのように

捉え、改善を図るのか。

質問 平成29年度の入館者数が目標値の約57%に留まった。指定管理料830万円や、その他諸々の町負担も発生しているが、今後、入場者数をどのように目標達成をしていくのか。

回答 入館者数は平成28年度4万3000人、29年度2万8732人と著しく落ち込んでいる。ホビー館、関係する県の支援企画員、観光協会、関係する団体で協議を進めている。これから、企画展の取り組みや、31年2月からのポスト維新博との連携、ウェブを利用し

質問 平成29年度の入館者数が目標値の約57%に留まった。指定管理料830万円や、その他諸々の町負担も発生しているが、今後、入場者数をどのように目標達成をしていくのか。

回答 入館者数は平成28年度4万3000人、29年度2万8732人と著しく落ち込んでいる。ホビー館、関係する県の支援企画員、観光協会、関係する団体で協議を進めている。これから、企画展の取り組みや、31年2月からのポスト維新博との連携、ウェブを利用し

質問 平成29年度の入館者数が目標値の約57%に留まった。指定管理料830万円や、その他諸々の町負担も発生しているが、今後、入場者数をどのように目標達成をしていくのか。

回答 入館者数は平成28年度4万3000人、29年度2万8732人と著しく落ち込んでいる。ホビー館、関係する県の支援企画員、観光協会、関係する団体で協議を進めている。これから、企画展の取り組みや、31年2月からのポスト維新博との連携、ウェブを利用し

質問 平成29年度の入館者数が目標値の約57%に留まった。指定管理料830万円や、その他諸々の町負担も発生しているが、今後、入場者数をどのように目標達成をしていくのか。

回答 入館者数は平成28年度4万3000人、29年度2万8732人と著しく落ち込んでいる。ホビー館、関係する県の支援企画員、観光協会、関係する団体で協議を進めている。これから、企画展の取り組みや、31年2月からのポスト維新博との連携、ウェブを利用し

て情報発信をしていく。

契約

電源立地地域対策交付金事業の小型動力ポンプ付積載車整備事業に係る売買契約の締結について

これは下津井分団に配備している小型動力ポンプ付積載車の更新を行うものである。

町道認定

町道見付カヤノ線

高速道路整備に伴う住家移転予定地域の生活道として利用予定。



水間 淳一 議員

遊休土地

本町の現状は 売却も検討する／総務課長

水間 本町の遊休土地は何カ所で何haか。

清藤総務課長 窪川地区は16カ所で約2ha、大正地区は15カ所で約2.4ha、十和地区では5カ所で約0.2haとなっている。

水間 本町は新たな課税客体が見込めないし、交付税も減少していく。またふるさと納税も減少が予想される中であって、遊休土地は売却して本町のスリム化を図るべきと思うが。



どうするよ、遊休土地。

清藤総務課長 将来的に利用する予定のない土地は売却、払い下げ、競売などにより処分を考えていきたい。

町有財産

日本庁舎跡地の活用は 歴史、文化ゾーンとして 位置づける／副町長

水間 四万十町旧本庁舎跡地活用で直近の動きはどのようになっているか。

森副町長 文化的施設検討委員会で今年度中に基本構想を策定することになっており、町長、教育委員会とも協議を重ねている。

その他の質問 ● 障害者雇用促進法について

森副町長 文化的施設検討委員会で今年度中に基本構想を策定することになっており、町長、教育委員会とも協議を重ねている。



ここが候補地？



下元 真之 議員

新図書館

旧庁舎跡地は適地か まちづくりの視点で考えている

副町長

下元 新図書館の建設予定地として旧庁舎跡地は適地と考えるか。住民や中高生の生活動線上にあるのかの視点も大事になるのではないかと。

森副町長 大きな事業となる新図書館は、まちづくりの視点で位置づけたいと考えている。

岩本寺には年間10万人の来訪者があり、周辺には歴史的な価値のある建造物が立ち並んでおり、**歴史文化学習ゾーンとして位置づけて取り組んでいる。**

川上教育長 子供から高齢者まで利用しやすい場所であることは大事だ。中高生のワークシヨップでは現在の図書館へも足を運んでいる実態があり、**利便性で考えても旧庁舎跡地は範囲に入ってくる**

と思われる。

下元 できあがったものに予算を入れ続けたいと破綻するのが今のハコモノ公共事業だ。今までと同じ考え方で整備を進めて大丈夫か。

中尾町長 後に世に負担をかけることのないよう進めたいが、ここに生活している住民や学生の方々の教育環境の整備も必要だ。適規模も精査しながら十分に時間をかけて取り組む。



みんなでよ〜く!! 考えよう

下元 選定委員会の委員は公平性・客観性を考え、運営計画や経営計画を公認会計士や社会保険労務士、経営指導員、弁護士など、プロの視点で精査していく必要性があるのではないかと。

下元 選考項目に、施設を運営する現行企業に対して、加点、減点の仕組みを整備してモニタリングしていくことの考えを問う。

清藤総務課長 所管課で年に一度、実績を聴取し不足がある場合には指導等はしているが、点数まではつけていない。

清藤総務課長 施設の設置目的が様々なになっており、その目的に合致した選定委員を選任していく考えだ。

指定管理

公平性・客観性を考え

プロの視点で精査せよ

設置目的に合致した選定委員を

選任する／総務課長



見込んでおり、材料に使う豚肉の増産というメリットが期待できる。
また、新たな雇用ということで地域に貢献できると確信している。

文化的施設整備事業に484万1000円

30年度に策定した基本構想を踏まえ文化施設検討委員会を開催し、基本計画策定に向けて検討を行い、計画策定の進捗に合わせ施設の基本・実施設計業務を行う。

質問 大変大きなお金が出ていくことが想定される。その意味で、平成31年度は非常に大事な時期。全体の計画を作るにあたって身の丈に合った計画金額を考えるべきではないか。

答弁 平成31年度に基本

計画策定、それをもとに設計業務に着手というところになっている。
平成31年度の基本計画を進めていく中で、議会



賛否のある文化施設の予定地のひとつ旧庁舎跡

の方にも中間報告という形で、計画の進捗状況、事業規模についても示していきたい。

くぼかわ保育所ブロック塀改修工事に516万3000円

ブロック塀を有するくぼかわ保育所において、児童の安全のため改修工事を行うもの。

質問 改修工事の内容について具体的に説明を求め。

答弁 くぼかわ保育所北側の隣地との境界線上にあるコンクリートブロック塀を解体・撤去し、目隠しフェンス工事を計画している。



このぼり公園再生整備事業に4000万円

質問 この広場に対する舗装的な路面の整備については、今までも様々な工法を講じ、事業費を投じてきた。今回の工事計画の工法はについて確認したい。

答弁 これまで工法についてはいろいろな専門家と交え検証した経過もある。平成29年度に実施した上流部の工法に倣い、25cmのコンクリート厚で舗装する工法を考えている。

ふるさと支援推進事業に5億6982万5000円

平成31年度の寄附額（ふるさと納税）目標10億円。

この目標達成のために、返礼品特産品代3億円、通信運搬費1億445万円、取扱手数料9577万円、推進委託料5543万円、その他1417万円。

移住定住促進事業（住宅支援）に6824万円

移住希望者や若者等の定住促進を図るための住宅確保に必要な支援を行う。若者定住促進支援事業補助金3500万円（35件分）家族支え合い居住支援事業補助金1500万円（15件分）、空き家活用事業費補助金1824万円（10件分）



産業建設常任委員会

議員報酬引き上げ時に議会活動、とりわけ常任委員会活動の質の向上と目標を持って持続的な活動が求められています。県下はもちろん全国の優れた取り組みから学び、私どもの活動に活かしていきたいと決意しています。

総務 常任委員会

総務常任委員会の所管は、企画課、総務課、税務課、危機管理課、会計管理者、選挙管理委員、固定資産評価審査委員会、監査委員それぞれに関する事務等々多岐にわたっており、その責任の重さを痛感しています。

お引き受けした以上は、先輩議員のアドバイスをいただきながら、精一杯役割を全うしていく所存ですので、よろしくお願います。

任期中の活動目標は、

- ① 公共交通体系の研究。
- ② 月1回以上のテーマ別委員会の開催。
- ③ 議員・議会に関する条例、規則等の精査。

産業建設 常任委員会

● 地産外商の取り組み産業育成Ⅱ 地産
県外販売Ⅱ 外商
外貨獲得Ⅱ 観光
所得、雇用の確保、県
下1農協による零細農
家の現状等調査。

● 災害木造仮設住宅
森林譲与税の導入をふ
まえて、木造仮設住宅
の生産やストックヤー
ド等、早急な取り組み
調査。

● ICT定住モデル調査
情報通信技術を活用し
て新規就農者や担い手
農家が農村で定住しや
すい取り組み。

教育民生 常任委員会

● 教育民生常任委員会の所管は、教育委員会、町民課、健康福祉課。
今年の主な取り組み事項

● 住民の健康づくり〜体
に意識を向け、自らが
健康維持に取り組める
環境づくり〜。

● 保育、教育の現場職員
の生の声を聞き、働き
甲斐のある職場づくり。

● 文化的施設、市街地再
生構想の周知と聞き取
り調査。

● 来年より四十町が単
独で特別養護老人ホー
ムを運営するためのス
ムーズな移行対策。

広報広聴 常任委員会



広報広聴常任委員会

● 議会報告会若しくは地
域周りを2回以上計画
します。

● 議会だよりを年4回発
行しています。

● 広報広聴常任委員会は
議長より「この一年情
報公開の拡大・向上を
全国の優れた教訓から
学び具体化せよ」と諮
問されています。

● 町民からも情報公開の
拡大と工夫の要望が具
体的に寄せられていま
す。これにも積極的に
応えていきたい。



意思表示

○賛否の分かれた議案

○：賛成 ●：反対

| 議案 | 酒井祥成 | 榎野章 | 林健三 | 古谷幹夫 | 緒方正綱 | 武田秀義 | 吉村アツ子 | 味元和義 | 水間淳一 | 中屋康 | 岩井優之介 | 田邊哲夫 | 堀本伸一 | 村井眞菜 | 橋本章央 | | |
|---------------------------------------|------|-----|-----|------|------|------|-------|------|------|-----|-------|------|------|------|------|---|--------|
| 【6月定例】陳情第1-11号 日米地位協定の抜本改定を求める意見書の陳情書 | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 賛成多数可決 |
| 【6月定例】発委第2号 日米地位協定の抜本改定を求める意見書 | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 賛成多数可決 |

○全会一致の議案

| 【5月臨時】議案 | 結果 |
|---|------------|
| 承認第2号 専決処分の承認を求めることについて(四万十町税条例の一部を改正する条例) | 可決 |
| 承認第3号 専決処分の承認を求めることについて(四万十町固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例) | 可決 |
| 承認第4号 専決処分の承認を求めることについて(四万十町国民健康保険税条例の一部を改正する条例) | 可決 |
| 承認第5号 専決処分の承認を求めることについて(四万十町介護保険条例の一部を改正する条例) | 可決 |
| 承認第6号 専決処分の承認を求めることについて(平成30年度四万十町一般会計補正予算(第5号)) | 可決 |
| 承認第7号 専決処分の承認を求めることについて(平成30年度四万十町国民健康保険大正診療所特別会計補正予算(第4号)) | 可決 |
| 同意第2号 教育委員会委員の任命について | 可決 |
| 議案第35号 四万十町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について | 可決 |
| 議案第36号 令和元年度四万十町一般会計補正予算(第1号) | 可決 |
| 【6月定例】議案 | 結果 |
| 諮問第1号 人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて | 適任 |
| 陳情第1-13号 陳情書(年金制度改革) | 採択 |
| 請願第1-1号 教職員の長時間過密労働解消のため、1年単位の変形労働時間制の導入ではなく、定数の抜本改善を求める請願 | 採択 |
| 議案第37号 平成31年度地場産業振興センター食品加工施設新築工事(建築主体)請負契約の締結について | 可決 |
| 議案第38号 平成31年度地場産業振興センター食品加工施設新築工事(電気設備)請負契約の締結について | 可決 |
| 議案第39号 平成31年度地場産業振興センター食品加工施設新築工事(機械設備)請負契約の締結について | 可決 |
| 議案第40号 損害賠償の額を定めることについて | 可決 |
| 議案第41号 町道路線の認定について | 可決 |
| 議案第42号 高幡西部特別養護老人ホーム組合規約の変更に関する協議について | 可決 |
| 議案第43号 四万十町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について | 可決 |
| 陳情31-7 消費税増税の中止を求める陳情について | 趣旨採択 |
| 陳情第1-12号 「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書 | 趣旨採択 |
| 陳情第1-14号 日本政府に対して、国連の「沖縄県民は先住民族」勧告の撤回を求める意見書の採択を求める陳情書 | 不採択 |
| 陳情第31-5号 JR窪川駅前・町役場(西庁舎)前の再開発を求める要望書 | 不採択 |
| 発委第3号 若者も高齢者も安心できる年金制度の改革を求める意見書求める意見書 | 可決 |
| 発委第4号 教職員の長時間過密労働解消のため、1年単位の変形労働時間制の導入ではなく、定数の抜本改善を求める意見書 | 可決 |

教育民生常任委員会の動き

(4月)

常任委員会開催

(4月12日)

教育委員会との意見交換を実施。

一、本年度の教育方針

二、学校施設の状況と懸

案事項。

三、最近の学校環境の動

きについて。

等について説明を受け協議した。

二、委員会の本年度の所

管事務調査について

絞込みを行う。

(7月)

常任委員会

学校訪問視察

(7月8日)

学校経営に関すること

(時間管理を含めて)

施設に関することを主と

して、窪川中学校、田野々

小学校、十川小学校を訪

問し視察協議をする。

(9月)

常任委員会開催

(9月12日)

一、9月定例会に付託さ

れた陳情2件につい

て審査をする。

二、教育委員会より旧庁

舎跡地に建設予定と

する文化的複合施設

の動きについて説明

を受ける。

常任委員会開催

(9月17日)

陳情審査(2件)と意

見書について内容の確認

審査を行う。

(5月)

常任委員会開催

(5月10日)

一、高幡西部特別養護老

人ホーム組合につい

て、担当政策監より

中土佐町との協議で

令和2年3月末に解

散するスケジュール

三、委員会研修日程を協

議。テーマを特別養

護老人ホームの運営

と文化的施設につい

てと決定した。

(8月)

常任委員会開催

(8月26日)

一、学校訪問のまとめ。

二、6月定例会で付託さ

れている陳情の継続

審査を実施。



学校訪問風景



岩井優秀之介 議員

本町は臨時職員、研修先の奈義町の体制は 奈義町は質、量とも整った体制である

／生涯学習課長

岩井 本町の図書館は窓

長は学芸員で職員4人、臨時職員4人、司書2人、司書補2人の資格を持っている。毎月、美術館・図書館どちらも、催し物を開催している。体制が整っているので企画内容も充実している。

岩井 本町は館長・副館長・事務員は兼任で窓口の係は臨時職員のみと聞くと、研修先の奈義町の体制は。



毎月美術館・図書館も催し物を開催している奈義町

口の担当者は何人か。
生涯学習課長 本館の窓口は3人で行っている。奈義町の体制は、本町の体制と比べると、専門性を持った職員を正規職員として配置するなど、質、量とも整った体制である。

図書館法

図書館のレファレンスサービスとは
利用者の調べ物を手助けするものである

／生涯学習課長

岩井 今検討中の図書館

は図書館法をクリアしているかと通告している。

中身は図書館のレファレンスサービスのことであり、レファレンスサービスとは何か。

生涯学習課長 図書館

利用者が学習、研究、調査を目的として必要な情報、資料などを求めた際に、図書館員が情報そのもの、あるいはそのために必要とされる資料を検索、提供、回答することによってこれを助ける業務である。

利用者の本を貸し出す



四万十町立図書館

ということだけが図書館の業務ではなく、利用者の

調べ物の手助けをする事も大事な業務である。

ありやどなちゅうが？

「四万十川方式はどうなっちゅうが？」

Q 26年前に高知発の
新水処理施設として
始まった、「四万十川
方式」は今はどうなっ
ちゅうが？

A 生活排水浄化施設
として、石や土、

微生物の働き等自然の浄
化作用を応用して造られ
た「四万十川方式」の浄
化槽は、四万十町に13箇
所設置されています。

平成4年度を皮切りに
設置が始まり、全国から
注目され、当時担当者は
多くの視察を受け入れる
のに大忙しでした。近年
合併浄化槽の普及等によ
り平成15年度の昭和炎谷
地区を最後に設置はされ
ていません。

Q 管理はどうしゅう
がで？



十和振興局の下にある四万十川方式

A 現在は、当時から
研究開発に携わり、
四万十川方式のノウハウ
を持った宿毛の「西部飼
料」という会社に、維持
管理料年間約500万の
予算で委託しています。
泥抜きや清掃作業、ブ
ロワの交換などが主な
内容です。

Q 当時のことを知っ
ている専門の知識
を持った職員はおるか
え。合併浄化槽の普及も
進みゆうけんど今後は、
どうするがでよ。

A 専門の知識を持つ
た職員はいません。
平成30年度から3年間
かけて四万十川方式施設
の上流と下流の水質の違
いを検証する作業をして
おります。検証結果をみ
て令和3年度に今後の取
り扱いを検討する予定で
す。

Q そもそも、四万十
川方式は化学薬品
や大きな動力機器を必要
とせず、資格者が常駐す
る必要もない。メンテナ
ンスも比較的安易でラン
ニングコストも少なくて
すむということやったけ
んど、地元住民に委託は
できんがえ

A 現在は専門のノウ
ハウを持っています。
会社へ委託しています。
今後の対応を含め検討課
題です。

表紙の紹介

こども議会
窪川小学校6年生の
皆さん

本町議会です初めての窪
川小学校6年生(46人)
の皆さんによる「こども
議会」が1月20日に議場
で開催されました。

議案を現在、検討され
ている「文化的施設」と
し、「議長役」の校長先
生の議事進行のもと、執
行部、議員、町民、それ
ぞれに分かれて、図書館
の利用サービスなどにつ
いて、本議会に負けず劣
らずの白熱した議論が交
わされました。



編集後記

明けましておめでと
うございます。

地球温暖化の動きが
肌身に感じるように、
今冬はまさに「暖冬」
傾向です。

季節の移ろいにメリ
ハリがなくなるよう
です。

「議会だより」も時
宜を得た誌面構成に心
掛け、新たな気分
で、皆さまに楽しんで
頂ける誌面づくり
と心がけてまいります。
(中屋 康 記)

【広報聴取委員会】

委員長 岩井優之介
副委員長 橋本 章央
委員 武田 秀義

中屋 康
古谷 幹夫
榎野 章
水間 淳一
村井 眞菜

公共施設

公共施設の将来を問う ランニングコストは しっかり頭に入れ進める

町長



武田 秀義 議員

武田 四十町町の公共施設はどのくらいあるか。

熊谷総務課長 建築系で合計817施設、土木系では2754施設。その中で、31年以上経過した建築物施設は、約300施設ある。

武田 高度成長期ごろから整備されてきたそれらの公共施設が、30年・40

年経ち大量に更新時期を迎える。更新費用は今後40年間で、756億・年平均18.9億円かかると試算されている。少子高齢化・人口減少・実労働人口減

武田 公共施設の将来をどう見通しているか。

少などにより財政面が危惧されるがどう捉えているか。

町長 ランニングコストはしっかり頭に入れ進めたい。

熊谷総務課長 管理は公共施設等に関わる総合管理計画を基に進めている。庁舎内でもマネジメント推進委員会を設置し施設カルテの作成など、個別の施設計画の策定に取り組んでいる。



現在の図書館

文化的施設の建設は見直すべきではないか

様々な議論、提言をいただき

最終的な判断をする

武田 15億円もの費用をかけ建設計画を進めている文化的施設は、華美過大ではないか。

で立ち止まり、見直すべきではないか。

林生涯学習課長 図書館機能・美術館機能・資料等展示機能・そしてコミュニティ機能を有する複合型施設を計画している。ただ、華美にはならず四十町らしさを出していく工夫は必要と考える。

町長 何が何でもやるという考え方は持つてない。今後は裾野を広げ様々な議論・提言をいただき最終的な判断をしていきたい。

武田 現在の施設と新しい文化的施設のランニングコストは。

武田 教育長は、財政班の班長を歴任された経験から、文化的施設に対する見解を伺う。

林生涯学習課長 現在の施設は、4000万強。新しい文化的施設は、6000万〜7000万円くらいを予想している。

山脇教育長 今後の人口減少に伴う財政規模の縮小等々どう見通していくか大事なところだ。総合的に町職員、住民の皆様と十分な協議をし、将来の町のシンボルとして進め、計画を最終ステージに持つていくのが役割、使命と思っている。

武田 大きな物を造れば維持費がかかる、四十町の将来と照らし合わせ

文化振興

文化振興

地元住民の目線で記録された資源の発掘とデジタル化への考え方は文化的施設の計画と併せてデジタル化に向け協議を進める

教育長



古谷 幹夫 議員

古谷 デジタルカメラの普及以前に撮影された写真や映像など地域の歴史を伝える視覚的史資料のデジタル化への取り組み状況は。

林生涯学習課長 高知新聞への調査には「着手又は着手予定である」と回答

答。県下17市町村の中に入。を風化させることなく、デジタル化に向け、文化的施設の計画と併せて協議を進めていく。

古谷 地元住民の目線で

記録された地域の貴重な資源の発掘と記録のデジタル化への新教育長の考え方は。

山脇教育長 地域の

歴史、文化等を視覚的に保存できるデジタル化は非常に有効な手段であり、後世へつなぐ重要な案件だ。

貴重な地域の財産



図書館・美術館（現在）

家地川活性化事業

家地川地域活性化拠点施設整備事業再提案の理由は

モデル的な事業と位置づけている 町長

古谷 家地川地域活性化拠点施設整備事業は3月定例会において修正動議議決された案件である。今回再提案するに至った経過と事業の必要性を問う。

町長 議員等の

指摘を受け、庁舎内にプロジェクトチームを設置するとともに状況の分析も実施。

廃校となる校舎を活用し地域の活性化につながる一つのモデル的な事業と位置づけ再提案するものである。

古谷 簡易宿泊施設の稼働率令和6年度8%の計画。この程度の計画で多大な投資をする事業が地域の将来にとって本当に

必要な事業か。大元政策監 開設から3年までは町の直営。4年目からは地元への指定管理移行を想定。この間持続可能な仕組みを研究構築。地元の運営体制も確立していく。



旧家地川小学校

町長 稼働率の想定は低いと感じている。今後はしっかりと推進できる体制づくりに努める。



橋本 章央 議員

林道、作業道開設時の濁水対策は 県の開設指針に基づき 進めている／農林水産課長

橋本 新
設された
林道・作
業道の濁
水対策に
ついて問
う。

池上農林
水産課長

事前の
対策とし

て県の開
設指針や、

林野庁の

指針に基づき、水切りを
多くして路面の荒廃を防
ぐなどの対策を取りなが
ら開設している。

事後の評価については、
町が主体的に詳細に調査
ができていない。

森林組合ではFSCの
認証を受けて、作業道に
限らず、適正な森林管理
ができていますと考える。
特にFSCについては、



濁流が心配やね

清流基準に基づいて水質
調査を実施し、清流を脅
かす様な状況ではないと
いう評価を受けている。

※(FSC認証とは)
社会、経済、環境のいづ
れの観点から見ても持続
的で模範的な森林管理が
なされているかを国際基
準で審査のうえ認証する
制度

教育行政

子どもの図書離れをどう考える 少子化に伴い増加傾向にある

／生涯学習課長

橋本 全国的に子どもの
図書離れが言われている
が、四万十町の実態はど
うの様に捉えているか。

生涯学習課長 入館者

の推移で観ると、平成26
年・3209人、27年・
3064人、28年・30
17人、29年・2692
人、30年・2726人と
減少しているが、子ども
の人数が減少している現
状もある。

子どもの読書について
は、「子ども読書活動の
推進に関する法律」があ
り、それに基づき様々な
活動を行っている。

橋本 保育所の図書購入

費が少ないと考えるがど
うの様に確保しているか。
のちから各保育所が本を
購入している。大体、1

生涯学習課長 保育所
に対しては、特に図書購
入費として予算を計上し
5000円から4000
0円程度である。



読書を楽しむ小鳩保育所の子ども達

高知県のコロナ対策

町の医師の判断でPCR検査が出来るのか
町の医師の判断で検査ができる

健康福祉課長



岩井 優之介 議員

岩井 県は8月中旬以降保健所を経由せず、町の医師の判断で保険適用で唾液によるPCR検査が出来ると発表している。本当か。

長森健康福祉課長 8月以降PCR検査が開始され、医療機関の判断で検査が出来るようになってくる。



PCR 検査キット

岩井 知事は町の診療所でも検査が出来るといっているがどの病院でも出来るか。

長森健康福祉課長 検査できる病院はすべてではない。四万十町は計6箇所の病院である。

図書館や美術館の目的や意義について
説明が必要ではないか

町民の様々な課題解決のお手伝いする
図書館をめざしたい／生涯学習課長

文化的施設

岩井 今、「図書館など」の建設に反対する署名が行なわれている。執行部はどう認識されているか。

林生涯学習課長 反対の署名運動が取り組まれているのは耳にしているが内容は承知していない。真摯に受け止め丁寧に対応させていただきたいと考えている。

岩井 もう少し図書館や美術館の目的や意義について本質を捉えた説明が必要ではないか。

林生涯学習課長 従来の図書館・美術館の機能に加え、町民の様々な課題解決のお手伝いをする課題解決図書館であるとか、創作活動等の自己表現活動の支援の充実を目指している。町民の集える場



現在の図書館

や中心市街地のにぎわい創出という新しい目的を持たせ、窪川の中心市街地に何とか新しい流れをつくり、活気を取り戻したい。

その他の質問

- エピセンターとは何か
- 日本教育学会の提言について
- 町長の政治姿勢
- 国保税の減免制度について
- 適正配置計画の見直しについて